

令和4年度

グラフで見る

労働災害の現状

(令和3年労働災害のとりまとめ)



厚生労働省 神奈川労働局
鶴見労働基準監督署



目次

1	労働災害の推移	1
	労働災害による死傷者数の年次別推移【図1-1】 労働災害による死亡者数の年次別推移【図1-2】	
2	業種別死傷災害の推移	3
	業種別死傷災害の推移【図2】	
3	業種別労働災害発生件数の推移	4
	業種別年別労働災害発生状況（死亡及び休業4日以上）【表1】	
4	労働災害防止推進計画（第13次労働災害防止推進計画）	5
	死亡者数の推移【図3-1】 休業4以上の死傷者数の推移（全業種）【図3-2】 休業4以上の死傷者数の推移（重点業種）【図3-3】	
5	署別災害発生状況	8
	署別・業種別災害発生状況【表2】	
6	署別労働災害発生状況（第13次防重点業種）	9
	署別・第13次防重点業種別災害発生状況【表3】	
7	業種別災害発生状況	10
	業種別休業4以上の死傷者数【図4-1】 業種別死亡者数【図4-2】	
8	事故の型別災害発生状況	11
	事故の型別休業4以上の死傷者数【図5】	
9	事故の型・起因物別労働災害発生件数	12
	業種別事故の型別休業4以上の労働災害発生状況【表4-1】 業種別起因物別休業4以上の労働災害発生状況【表4-2】	
10	年齢階層別、規模別災害発生状況	13
	年齢階層別休業4以上の死傷者数【図6-1】 事業場規模別休業4以上の死傷者数【図6-2】	
11	災害程度別災害発生状況	14
	災害の程度別休業4以上の死傷者数【図7】	
12	転倒災害の発生状況	15
	態様別発生状況【図8-1】 業種別発生状況【図8-2】 年齢別発生状況【図8-3】 休業期間別発生状況【図8-4】	
13	定期健康診断結果	16
	定期健康診断結果有所見率の推移【図9-1】 定期健康診断検査項目別有所見率【図9-2】	
14	特殊健康診断結果	17
	健康診断種類別有所見率【表5】 特殊健康診断結果有所見率の推移【図10】	
15	熱中症発症状況	18
	業種別発症者数【図11-1】 熱中症発症者数（月別）と最高気温（月平均）【図11-2】	
16	休業4日未満（不休除く）の労働災害発生状況	19
	業種別休業4日未満の労働災害発生状況【図12-1】 事故の型別休業4日未満の労働災害発生状況【図12-2】 起因物別休業4日未満の労働災害発生状況【図12-3】 事業規模別休業4日未満の労働災害発生状況【図12-4】 年代別休業4日未満の労働災害発生状況【図12-5】	

1 労働災害の推移

図1 1 労働災害による死傷者数の年次別推移

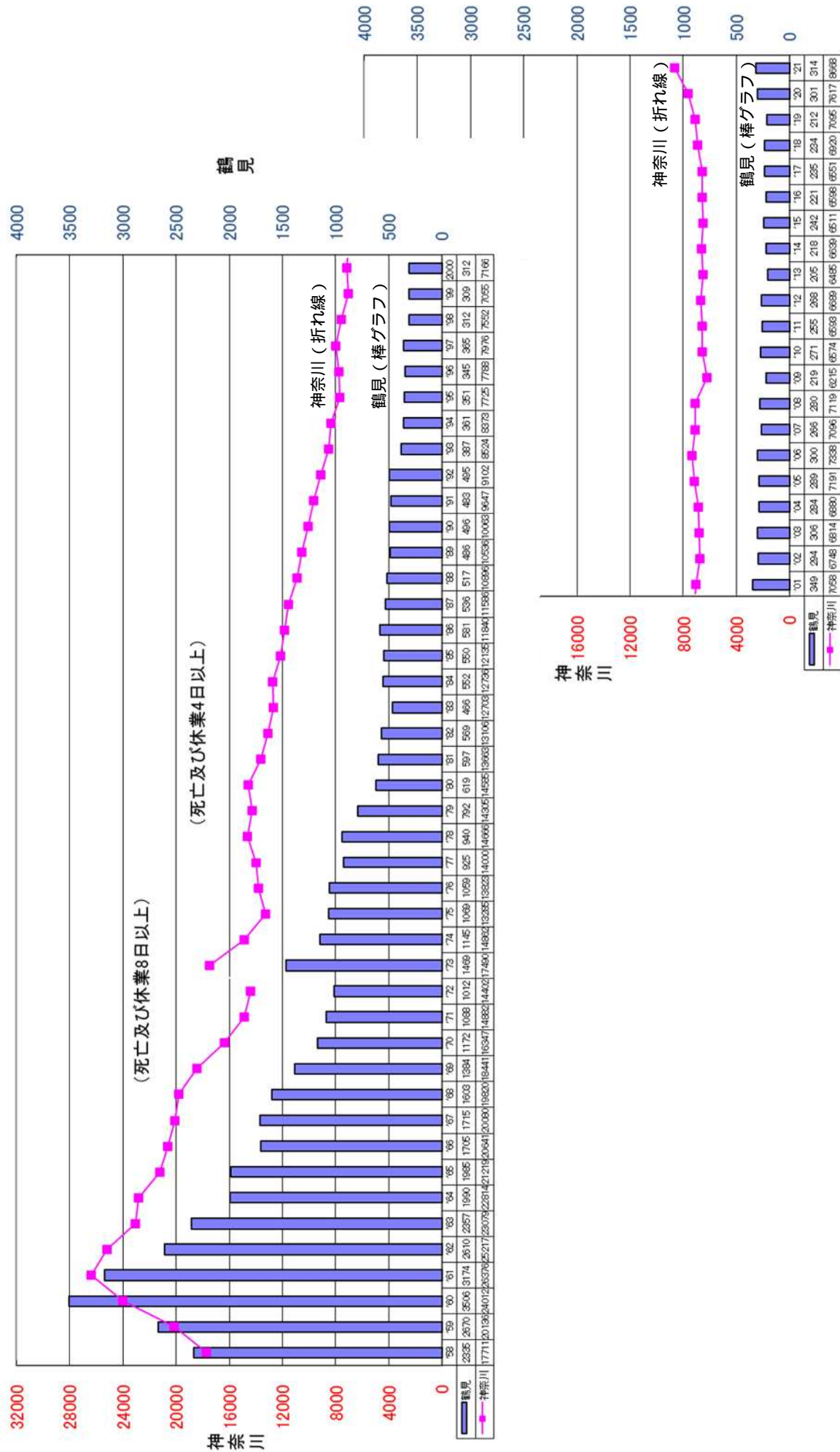
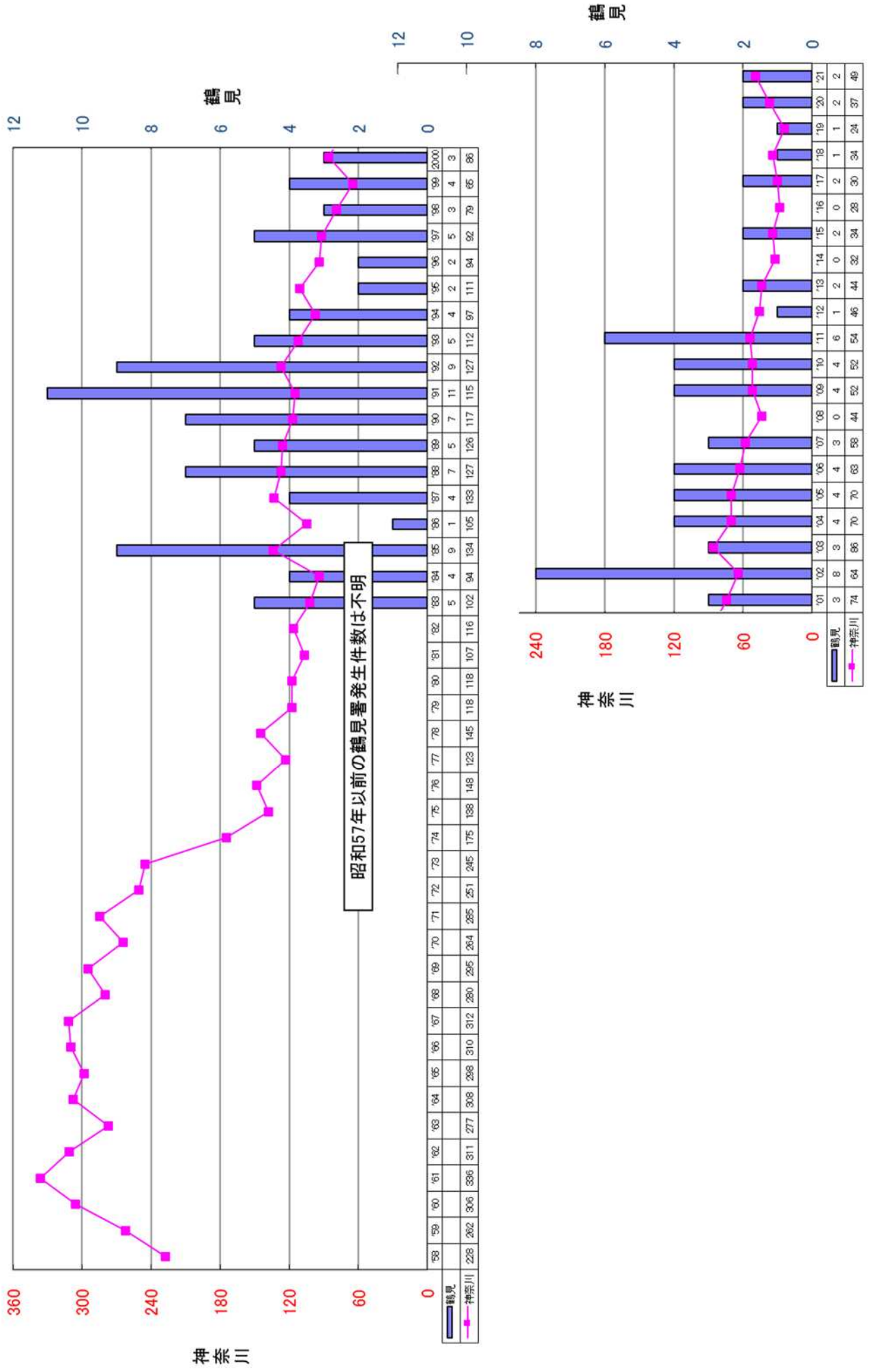


図1 2 労働災害による死者数の年次別推移

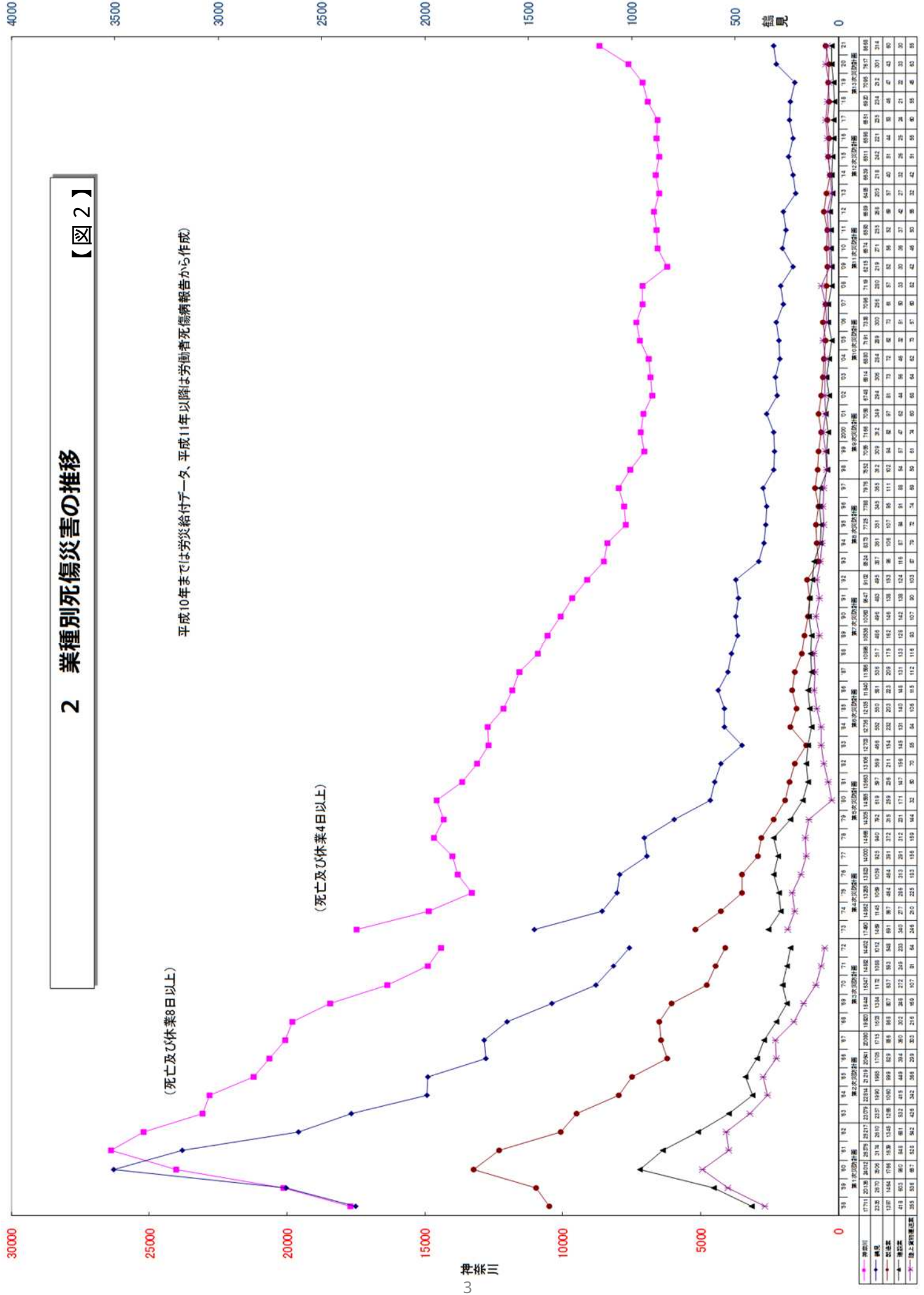
平成10年までは労災給付データ、平成11年以降は労働者死傷病報告から作成



2 業種別死傷災害の推移

【図2】

平成10年までは労災給付データ、平成11年以降は労働者死傷報告から作成



3 業種別労働災害発生件数の推移

【表1】

業種別年別労働災害発生状況（休業4日以上及び死亡）

業種	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31・令和元年	令和2年	令和3年	
製 造 業	食 料 品	7	15	12	8	14	16	16	11	7	13	17	10	10	10	14
	織 維					1										
	木 材	1					1									
	家 具	3			1		1	1	1							1
	紙				1		1	3			1					
	印 刷	2		1	0	1		1	1		1		1			1
	化 学	5	2	7	3	3	3(1)	1	2	3	4		1	3	6	7
	窯 業・土 石	1	1		3	1	4	2		2	2		1	1	2	4
	鉄 鋼	2	2	2	3	1	1	4	1			3	1	3	1	
	非 鉄 金 属		1											1		1
	金 属 製 品	13	11	9	14	12	17	8	6	17	7	10	14	10	5	14
	一 般 機 械	8(1)	7	4	4	2	6	5	3	2	2	3	2	2		4
	電 気 機 械	5	8	4(1)	4	4	4	4	4	3	1	2	5	3	3	6
	送 電 業	輪 造 船	9(2)	2	2	4	4	4	3	2	9	4	7	4	3	4
自 動 車 等		1	2	5	1	5	5	1	1		1	2	4	7	6	3
電 気・ガ ス 業									1		1			0		1
そ の 他		4	6	6	10(1)	4(1)	7	10	5	7	8	8	3	4	6(1)	4
小 計	61(3)	57	52(1)	56(1)	52(1)	69(1)	57	40	51	44	53	46	47	43(1)	60	
建 設 業	土 木	14	5	5	6	6(1)	6	6	8	6(1)	6	2	5	1	3	6
	建 築	19	16	13(1)	17(1)	19	23	9	15	13	12	16	11	14(1)	18	16(1)
	木 造 建 築	5	6	5(1)	6	6	3	6	5	1	1	3	2	2	3	2
	そ の 他	12	6	7	7	6(2)	10	6(1)	4	7	7	6	5	7	12	8
小 計	50	33	30(2)	36(1)	37(3)	42	27	32	26(1)	25	24	21	22(1)	33	30(1)	
運 輸 交 通 業 (道 路 貨 物 運 送 業 を 除 く)	4	4	3	5	9	9	7	7	4	11	14	10	8	7	10	
運 送 事 業	陸 上 貨 物 運 送 業	46	70	34	40	35	46	28	35	45(1)	40	44(1)	41	27	41(1)	28
	陸 上 貨 物 取 扱 業	5	7	8	6	15	9	4	7	6	15	16	14	18	22	27
	小 計	51	77	42	46	50	55	32	42	51(1)	55	60	55	45	63(1)	55
港 湾 運 送 業	9	5	7	7	3	4	4	1	2	1	2	2	0	4	5	
上 記 以 外	ビ ル メ ン	3	2	6	4	5	3	4	9	6	5	5(1)	14	5	6	9(1)
	清 掃 業 等	19	23	15	13(2)	18	14	9	15	14	7	6	9	0	10	10
	商 業	26	30	38(1)	37	35	33	30(1)	28	31	32	30	30	32	52	30
	保 健 衛 生 業	8	18	12	27	22	14	12	24	26	23	16	25	23	45	75
	そ の 他	35	31	14	40	24(2)	29	23	20	37	29	25	22(1)	30	38	30
小 計	91	104	85(1)	121(2)	104(2)	93	78(1)	96	114	96	82	100	90	151	154	
合 計	266(3)	280	219(4)	271(4)	255(6)	268(1)	205(2)	218	242(2)	221	235(2)	234(1)	212(1)	301(2)	314(2)	

(注) ()内は死亡者数で内数

4 労働災害防止推進計画（第13次労働災害防止推進計画）

神奈川県労働局の第13次労働災害防止推進計画（2018年度を初年度とする5か年計画）では、次の目標等の達成に向けて、各種対策を推進する。

- ① 2022年度（令和4年度）までに、神奈川県内の労働災害による死亡者数を15%以上減少（2017年比）。
【30人 → 25人以下】
- ② 2022年度（令和4年度）までに、神奈川県内の労働災害による死傷者数を5%以上減少（2017年比）。
【6,551人 → 6,223人以下】

鶴見労働基準監督署では、次の目標等の達成に向けて、各種対策を推進する。

- ① 労働災害による死亡者数の減少を堅持すること。単年度の死亡者数を0人とすること。
⇒ 死亡者数は、令和3年において2人であった。
- ② 2022年（令和4年）の死傷者数を2017年（平成29年）と比し5%以上減少させた233人以下とすること。
⇒ 死傷者数は、令和3年において314人であった（昨年に続き300件台となった）。

図3-1 死亡者数の推移

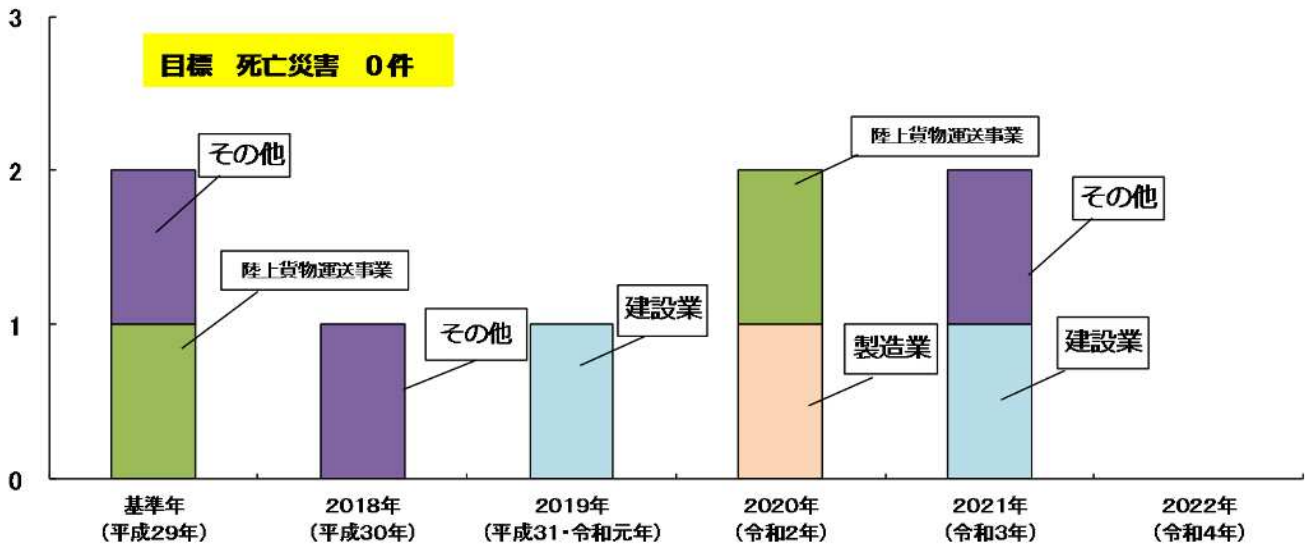


図3-2 休業4日以上死傷者数の推移（全業種）

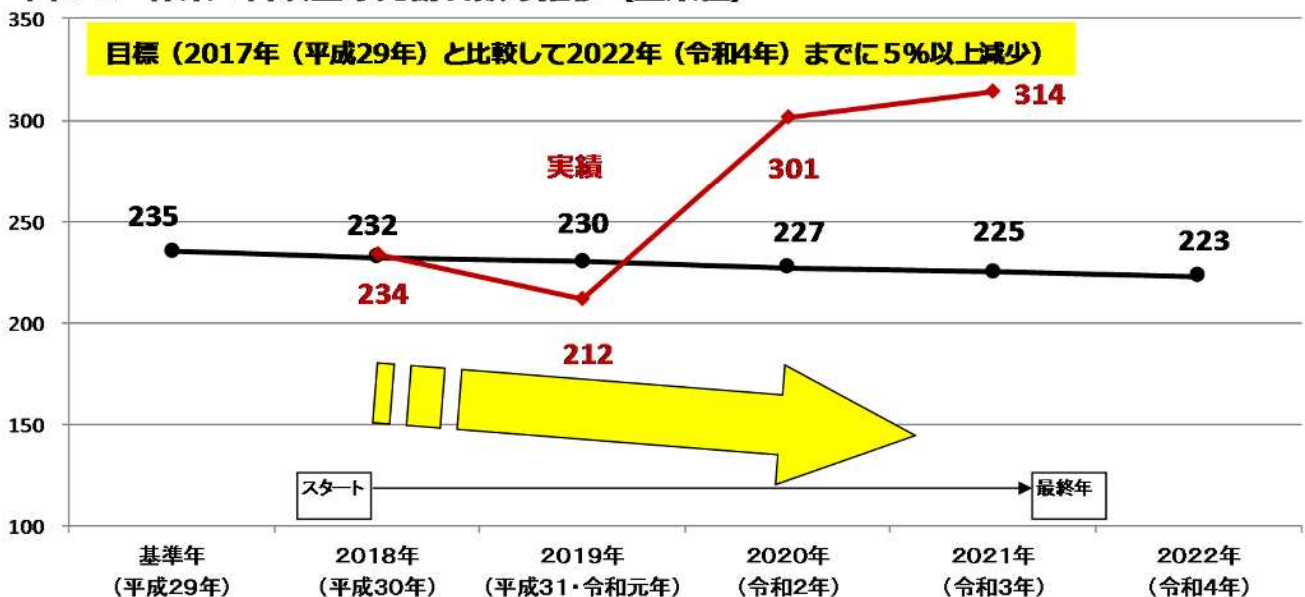
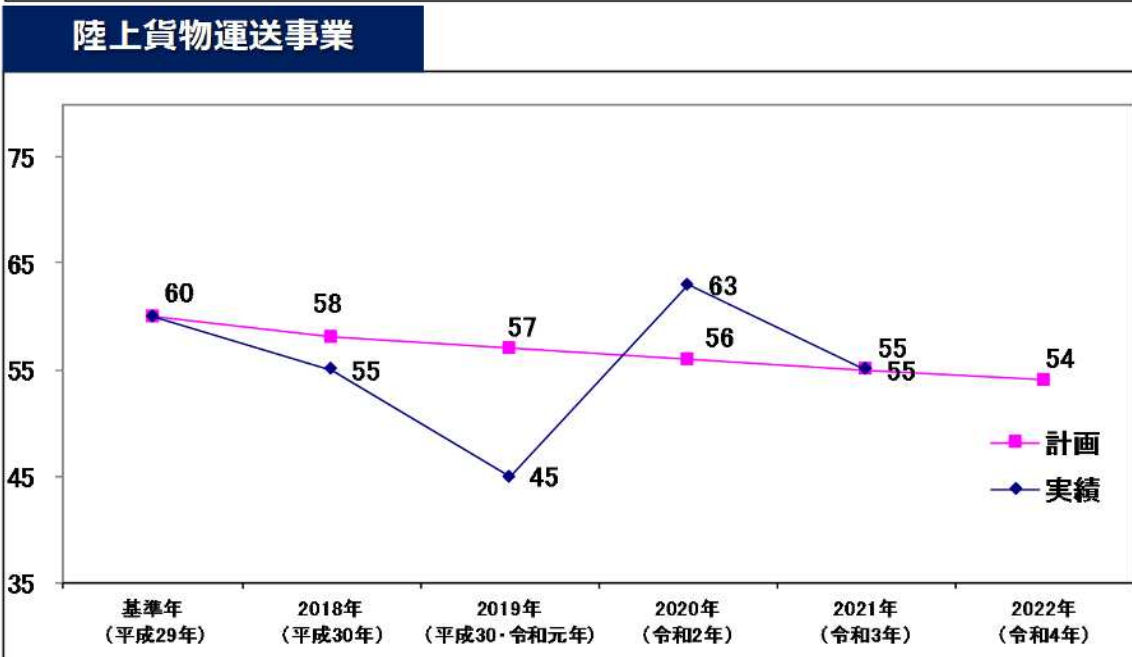
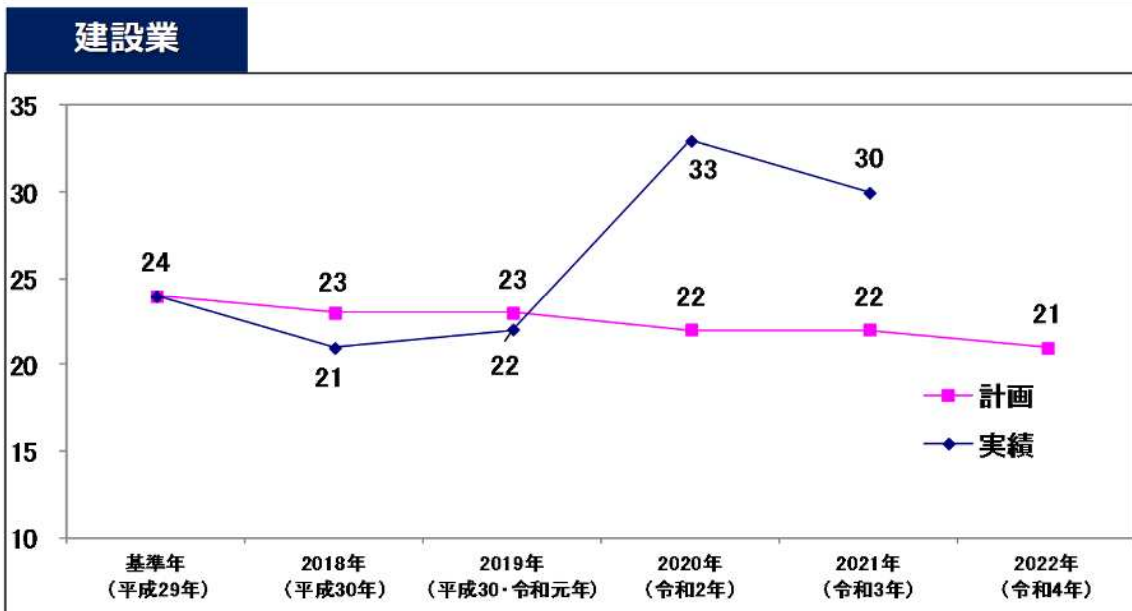
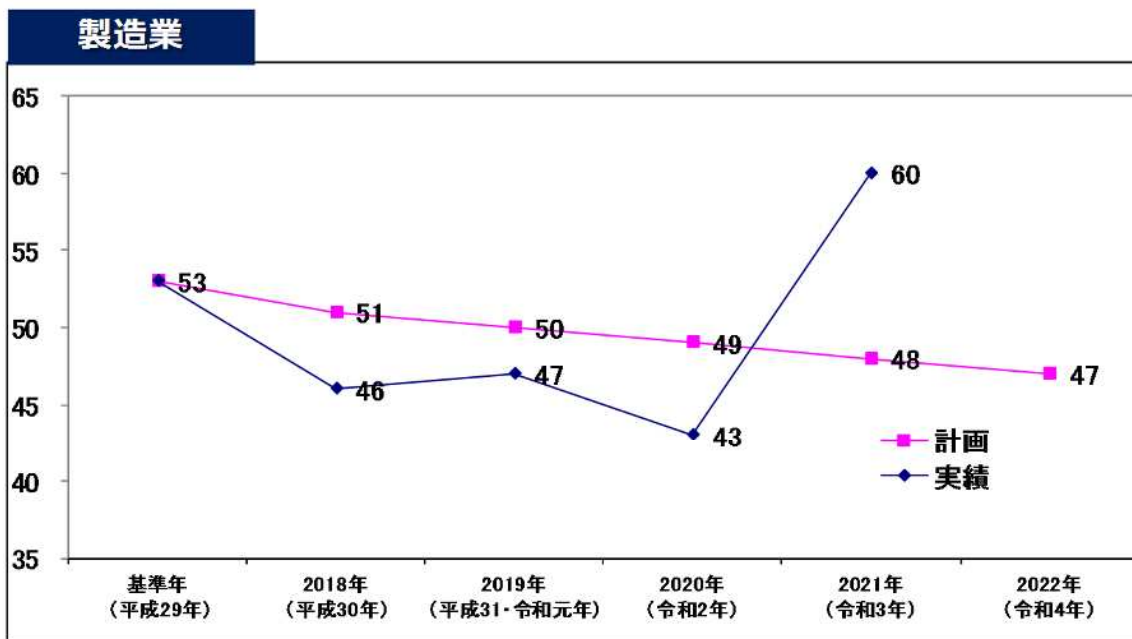
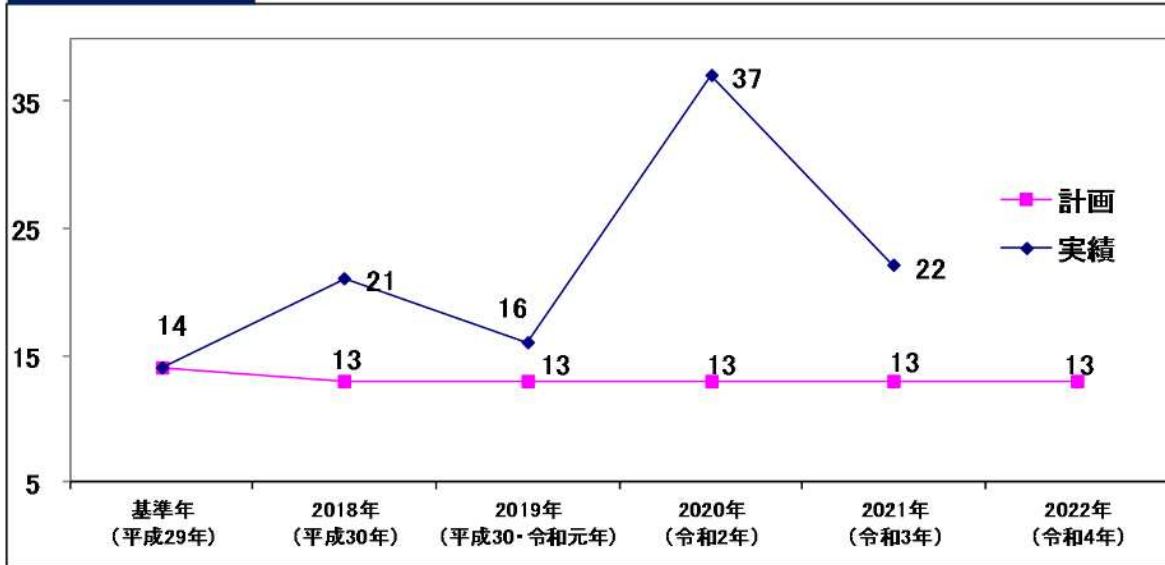


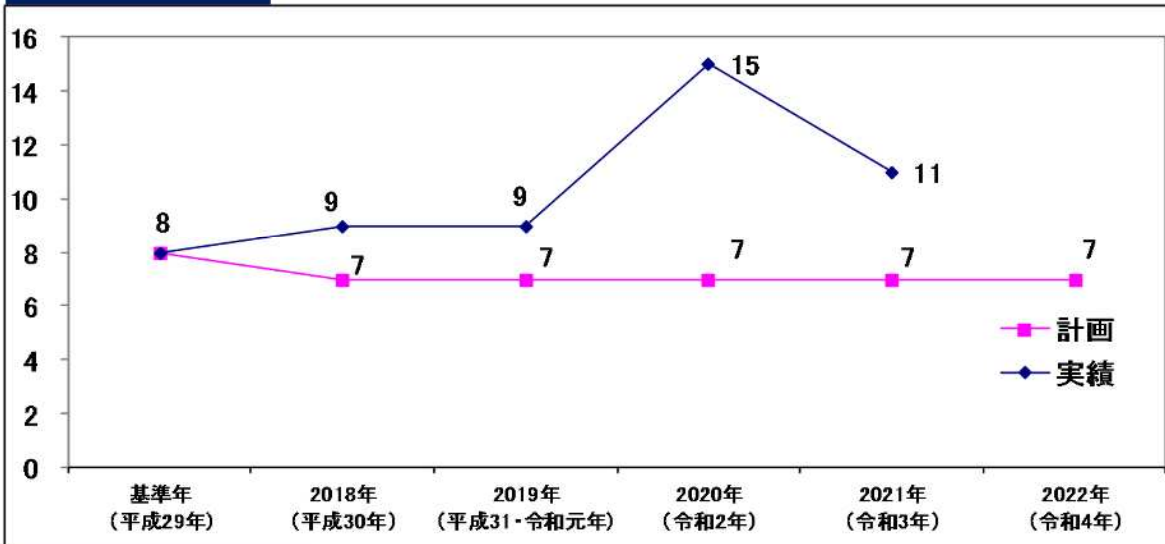
図3-3 休業4日以上之死傷者数の推移（重点業種別）



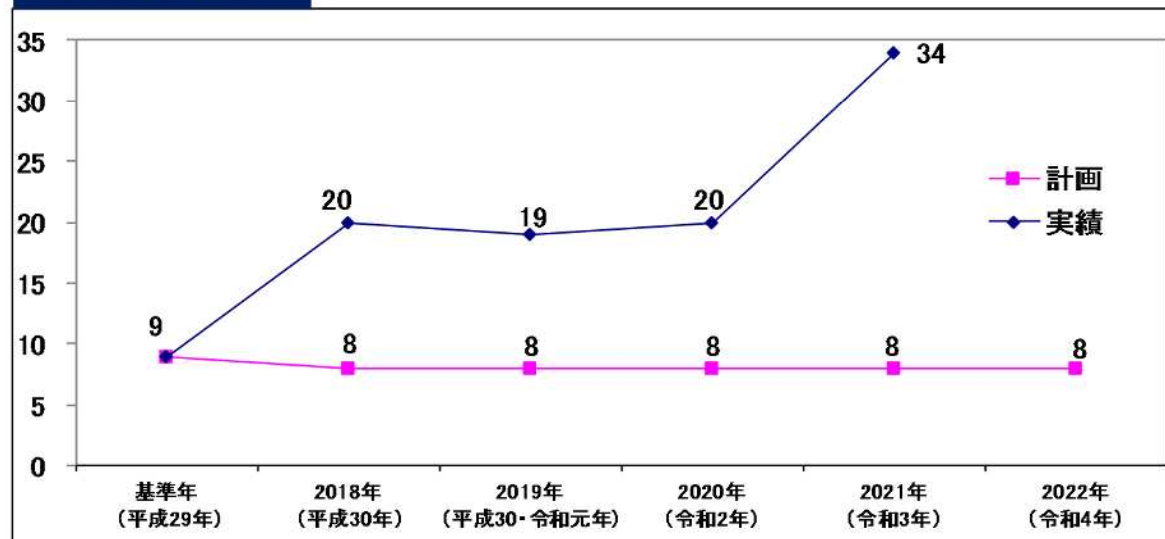
小売業



飲食店



社会福祉施設



5 署別災害発生状況（令和2年〈前年〉、令和3年〈本年〉）【表2】

署	業種	製造業		建設業		運輸交通業		貨物取扱業		商業		保健衛生業		接客娯楽業		清掃・と畜業		通信業		その他 (左記以外)		合計		前年比 (休業)	
		本年	前年	本年	前年	道路貨物運送業	左記以外	陸上貨物	港湾運送業	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年	本年	前年
横浜南	本年	75 (2)	73 (2)	66 (1)	31 (0)	22 (0)	21 (0)	138 (0)	176 (0)	51 (0)	75 (0)	7 (0)	81 (0)	816 (5)	97										
	前年	63 (0)	70 (2)	68 (0)	49 (0)	13 (0)	25 (0)	113 (0)	101 (0)	71 (0)	67 (0)	12 (0)	67 (1)	719 (3)	13.5%										
鶴見	本年	60 (0)	30 (1)	28 (0)	10 (0)	27 (0)	5 (0)	30 (0)	75 (0)	13 (0)	19 (1)	4 (0)	13 (0)	314 (2)	13										
	前年	43 (1)	33 (0)	41 (1)	7 (0)	22 (0)	4 (0)	52 (0)	45 (0)	19 (0)	16 (0)	2 (0)	17 (0)	301 (2)	4.3%										
川崎南	本年	113 (1)	54 (2)	76 (0)	20 (0)	60 (0)	1 (0)	67 (1)	83 (0)	23 (1)	24 (0)	12 (0)	55 (2)	588 (7)	63										
	前年	86 (0)	59 (1)	74 (0)	27 (0)	42 (0)	5 (0)	54 (0)	73 (0)	23 (0)	31 (1)	3 (0)	48 (0)	525 (2)	12.0%										
川崎北	本年	35 (1)	81 (0)	51 (0)	22 (0)	15 (0)	0 (0)	135 (0)	197 (1)	57 (0)	25 (0)	10 (0)	58 (1)	686 (3)	150										
	前年	31 (0)	71 (1)	41 (0)	13 (0)	2 (0)	0 (0)	131 (0)	126 (0)	38 (0)	29 (0)	17 (0)	37 (0)	536 (1)	28.0%										
横須賀	本年	50 (0)	64 (2)	21 (0)	18 (0)	1 (0)	0 (0)	61 (0)	91 (0)	33 (0)	27 (0)	5 (0)	69 (0)	440 (2)	14										
	前年	37 (0)	86 (0)	25 (0)	16 (0)	2 (0)	0 (0)	52 (0)	87 (0)	30 (0)	25 (0)	10 (0)	56 (1)	426 (1)	3.3%										
横浜北	本年	86 (0)	81 (1)	110 (1)	33 (0)	26 (0)	2 (0)	234 (0)	281 (0)	104 (0)	95 (0)	20 (0)	211 (0)	1,283 (2)	158										
	前年	96 (1)	100 (4)	103 (1)	40 (0)	18 (0)	4 (0)	206 (0)	261 (0)	78 (0)	83 (2)	17 (0)	119 (0)	1,125 (8)	14.0%										
平塚	本年	91 (0)	71 (0)	59 (0)	21 (0)	18 (0)	0 (0)	101 (0)	108 (0)	41 (0)	17 (0)	8 (0)	23 (0)	558 (0)	102										
	前年	85 (0)	51 (0)	48 (1)	15 (0)	8 (0)	0 (0)	75 (0)	63 (0)	48 (0)	27 (1)	8 (0)	28 (0)	456 (2)	22.4%										
藤沢	本年	98 (1)	66 (1)	67 (0)	30 (0)	14 (0)	0 (0)	148 (0)	142 (1)	43 (0)	32 (0)	13 (0)	68 (4)	721 (7)	12										
	前年	86 (0)	86 (2)	52 (0)	32 (0)	13 (0)	1 (0)	133 (0)	139 (0)	54 (0)	34 (0)	16 (0)	63 (2)	709 (4)	1.7%										
小田原	本年	70 (1)	50 (4)	23 (0)	12 (0)	41 (0)	0 (0)	49 (0)	86 (0)	46 (0)	25 (0)	7 (0)	33 (0)	442 (5)	64										
	前年	47 (1)	47 (2)	26 (0)	13 (0)	36 (0)	0 (0)	48 (0)	48 (0)	44 (0)	29 (0)	7 (0)	33 (0)	378 (3)	16.9%										
厚木	本年	235 (2)	70 (0)	158 (0)	37 (0)	92 (0)	0 (0)	165 (1)	228 (1)	86 (0)	48 (0)	29 (0)	100 (1)	1,248 (5)	225										
	前年	165 (2)	70 (1)	148 (0)	23 (0)	83 (1)	0 (0)	174 (1)	146 (0)	72 (0)	36 (1)	17 (0)	89 (1)	1,023 (7)	22.0%										
相模原	本年	141 (0)	61 (4)	55 (0)	9 (0)	18 (0)	0 (0)	102 (0)	155 (0)	42 (0)	41 (0)	0 (0)	55 (0)	679 (4)	44										
	前年	132 (0)	67 (0)	67 (1)	17 (0)	19 (0)	0 (0)	78 (0)	108 (0)	42 (0)	53 (1)	1 (0)	51 (1)	635 (3)	6.9%										
横浜西	本年	55 (0)	113 (4)	98 (0)	36 (0)	6 (0)	0 (0)	138 (1)	307 (1)	48 (1)	40 (0)	12 (0)	40 (0)	893 (7)	109										
	前年	53 (0)	84 (1)	89 (0)	30 (0)	4 (0)	0 (0)	133 (0)	244 (0)	46 (0)	43 (0)	12 (0)	46 (0)	784 (1)	13.9%										
合計	本年	1,109 (8)	814 (21)	812 (2)	279 (0)	340 (0)	29 (0)	1,368 (3)	1,929 (4)	587 (2)	468 (1)	127 (0)	806 (8)	8,668 (49)	1051										
	前年	924 (5)	824 (14)	782 (4)	282 (0)	262 (1)	39 (0)	1,249 (1)	1,441 (0)	565 (0)	473 (6)	122 (0)	654 (6)	7,617 (37)	13.8%										
前年同期 前年比 (休業)	本年	185	-10	30	-3	78	-10	119	488	22	-5	5	152	1051											
	前年	20.0%	-1.2%	3.8%	-1.1%	29.8%	-25.6%	9.5%	33.9%	3.9%	-1.1%	4.1%	23.2%	13.8%											

注) 休業4日以上の死傷者数(データは労働者死傷病報告による)、()内は、死亡者数で内数(データは死亡災害速報による)

6 署別労働災害発生状況 (令和2年〈前年〉、令和3年〈本年〉)

(第13次防重点業種別)

【表3】

署	業種	製造業	建設業	陸上貨物 運送事業	小売業	社会福祉施設	飲食店	その他 (左記以外)	合計	前年比 (休業)	(人) (率)
横浜南	本年	75 (2)	73 (2)	88 (1)	110 (0)	114 (0)	41 (0)	315 (0)	816 (5)	97	
	前年	63 (0)	70 (2)	81 (0)	84 (0)	83 (0)	51 (0)	287 (1)	719 (3)	13.5%	
鶴見	本年	60 (0)	30 (1)	55 (0)	22 (0)	34 (0)	11 (0)	102 (1)	314 (2)	13	
	前年	43 (1)	33 (0)	63 (1)	37 (0)	20 (0)	15 (0)	90 (0)	301 (2)	4.3%	
川崎南	本年	113 (1)	54 (2)	136 (0)	44 (0)	63 (0)	20 (1)	158 (3)	588 (7)	63	
	前年	86 (0)	59 (1)	116 (0)	39 (0)	30 (0)	19 (0)	176 (1)	525 (2)	12.0%	
川崎北	本年	35 (1)	81 (0)	66 (0)	111 (0)	152 (1)	46 (0)	195 (1)	686 (3)	150	
	前年	31 (0)	71 (1)	43 (0)	92 (0)	81 (0)	33 (0)	185 (0)	536 (1)	28.0%	
横須賀	本年	50 (0)	64 (2)	22 (0)	54 (0)	67 (0)	18 (0)	165 (0)	440 (2)	14	
	前年	37 (0)	86 (0)	27 (0)	42 (0)	69 (0)	18 (0)	147 (1)	426 (1)	3.3%	
横浜北	本年	86 (0)	81 (1)	136 (1)	175 (0)	202 (0)	89 (0)	514 (0)	1,283 (2)	158	
	前年	96 (1)	100 (4)	121 (1)	161 (0)	172 (0)	62 (0)	413 (2)	1,125 (8)	14.0%	
平塚	本年	91 (0)	71 (0)	77 (0)	79 (0)	66 (0)	27 (0)	147 (0)	558 (0)	102	
	前年	85 (0)	51 (0)	56 (1)	71 (0)	53 (0)	26 (0)	114 (1)	456 (2)	22.4%	
藤沢	本年	98 (1)	66 (1)	81 (0)	126 (0)	84 (1)	29 (0)	237 (4)	721 (7)	12	
	前年	86 (0)	86 (2)	65 (0)	122 (0)	108 (0)	39 (0)	203 (2)	709 (4)	1.7%	
小田原	本年	70 (1)	50 (4)	64 (0)	37 (0)	68 (0)	11 (0)	142 (0)	442 (5)	64	
	前年	47 (1)	47 (2)	62 (0)	41 (0)	35 (0)	16 (0)	130 (0)	378 (3)	16.9%	
厚木	本年	235 (2)	70 (0)	250 (0)	121 (0)	117 (1)	45 (0)	410 (2)	1,248 (5)	225	
	前年	165 (2)	70 (1)	231 (1)	130 (1)	102 (0)	40 (0)	285 (2)	1,023 (7)	22.0%	
相模原	本年	141 (0)	61 (4)	73 (0)	84 (0)	94 (0)	25 (0)	201 (0)	679 (4)	44	
	前年	132 (0)	67 (0)	86 (1)	62 (0)	79 (0)	26 (0)	183 (2)	635 (3)	6.9%	
横浜西	本年	55 (0)	113 (4)	104 (0)	111 (1)	205 (1)	33 (0)	272 (1)	893 (7)	109	
	前年	53 (0)	84 (1)	93 (0)	111 (0)	173 (0)	34 (0)	236 (0)	784 (1)	13.9%	
合計		1,109 (8)	814 (21)	1,152 (2)	1,074 (1)	1,266 (4)	395 (1)	2,858 (12)	8,668 (49)	1051	
前年同期		924 (5)	824 (14)	1,044 (5)	992 (1)	1,005 (0)	379 (0)	2,449 (12)	7,617 (37)	13.8%	
前年比 (休業)	(人)	185	-10	108	82	261	16	409	1051		
	(率)	20.0%	-1.2%	10.3%	8.3%	26.0%	4.2%	16.7%	13.8%		

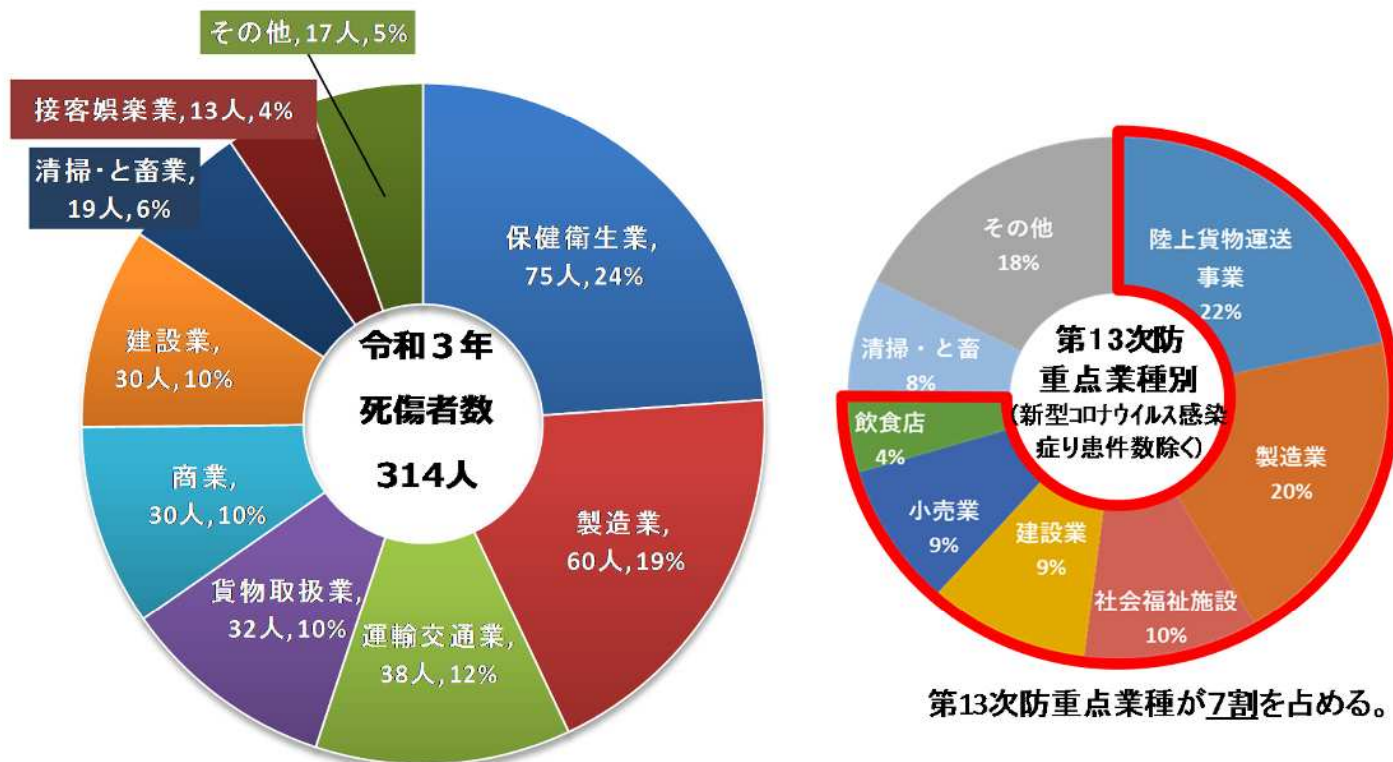
注1) 休業4日以上の死傷者数(データは労働者死傷病報告による)、()内は、死亡者数で内数(データは死亡災害速報による)

注2) 「陸上貨物運送事業」は、「道路貨物運送業」と「陸上貨物取扱業」の合計である。

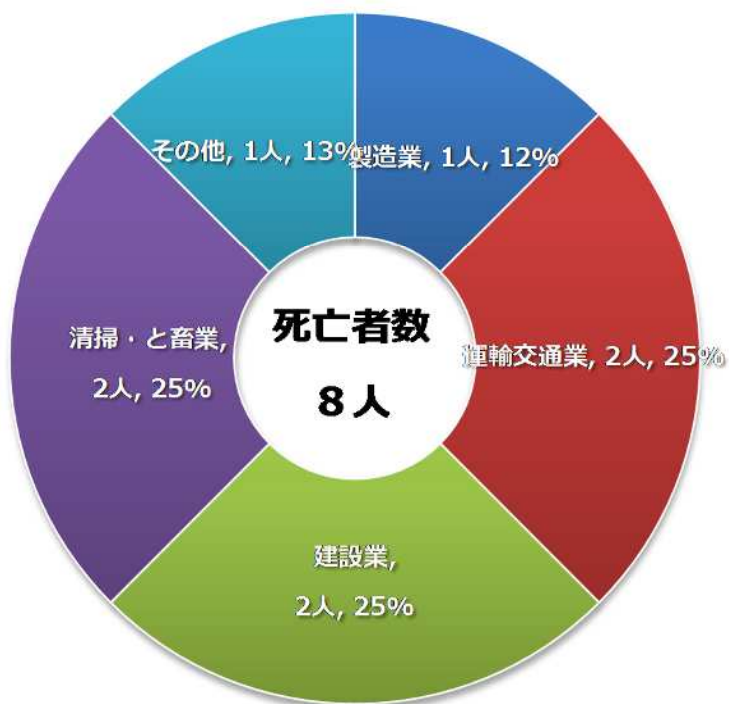
7 業種別災害発生状況

休業4日以上之死傷者数314人を業種別にみると、令和3年は、保健衛生業が75人(24%)、製造業が60人(19%)、運輸交通業が38人(12%)、貨物取扱業が32人(10%)、商業が30人(9%)、建設業が30人(10%)と続く。

【図4-1】業種別休業4日以上之死傷者数



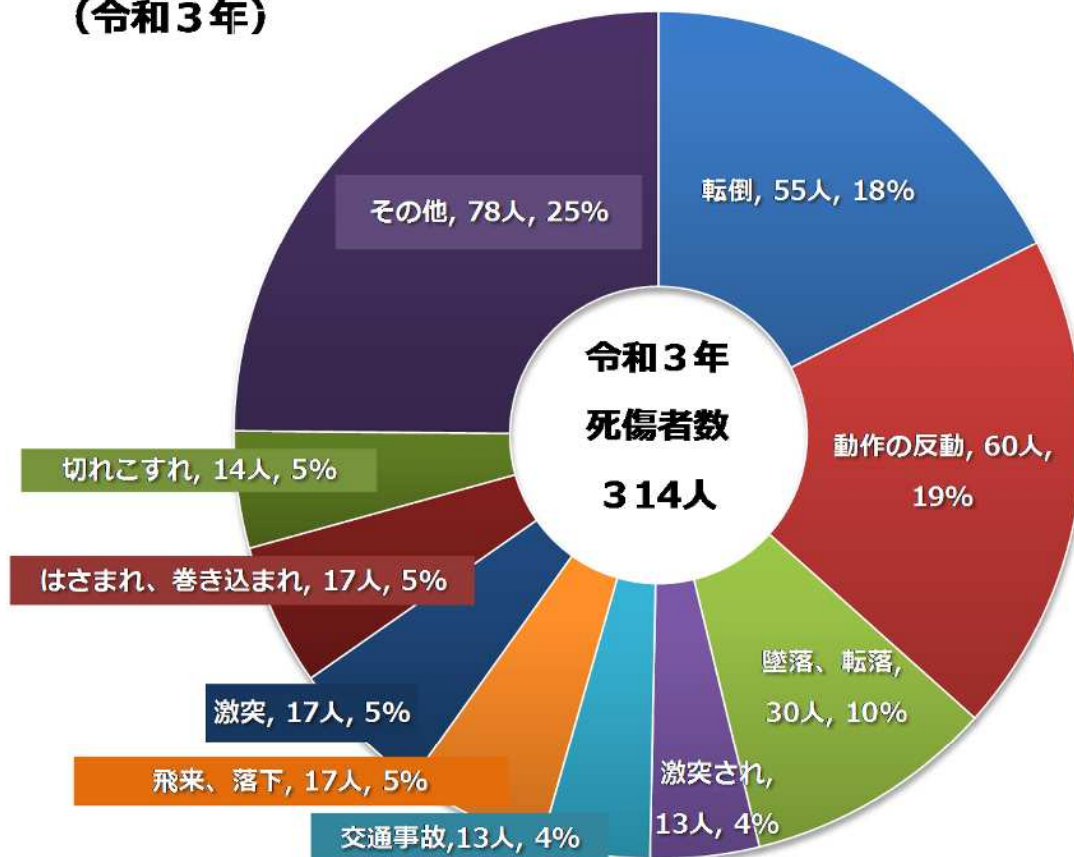
【図4-2】業種別死亡者数平成29年～令和3年（5年間計）



8 事故の型別災害発生状況

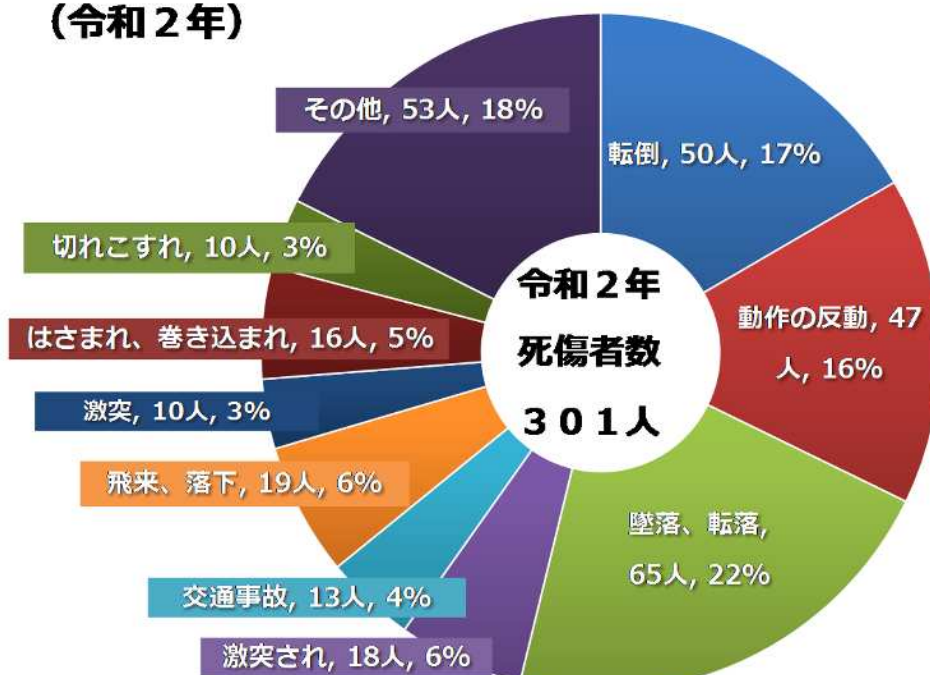
図5 事故の型別休業4日以上の死傷者数

(令和3年)



▶ 「墜落・転落」，「転倒」，動作の反動で死傷災害の半数以上を占めている。

(令和2年)



9 事故の型・起因物別労働災害発生件数

表4-1 令和3年 業種別事故の型別休業4日以上労働災害発生状況

業種 \ 事故の型	計	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	交通事故	動作の反動・無理な動作
製造業	60	5	7	2	6	3	8	5	0	12
建設業	30	8	4	3	1	1	2	4	0	1
陸上貨物運送事業	55	10	7	8	3	3	2	3	2	14
小売業	22	1	10	1	1	0	1	1	2	3
飲食店	11	0	4	0	0	0	0	0	1	2
社会福祉施設	34	0	6	2	1	1	0	0	3	10
清掃・と畜	19	3	5	0	2	2	2	1	0	4
その他業種	83	3	12	1	3	3	2	0	5	14
全業種	314	30	55	17	17	13	17	14	13	60

表4-2 令和3年 業種別起因物別休業4日以上労働災害発生状況

業種 \ 起因物	計	金属加工用機械	一般動力機械	動力クレーン等	動力運搬機	乗物	人力機械工具等	用具	その他の装置、設備	仮設物、建築物、構築物等	材料	荷
製造業	60	7	4	3	6	0	1	1	2	10	5	6
建設業	30	0	0	0	1	1	1	3	2	12	1	0
陸上貨物運送事業	55	0	0	0	14	2	10	1	0	14	1	10
小売業	22	0	1	0	0	2	3	1	2	9	0	3
飲食店	11	0	0	0	0	1	1	0	4	3	0	2
社会福祉施設	34	0	0	0	0	3	4	0	0	6	0	0
清掃・と畜	19	0	0	1	1	0	1	1	0	9	1	4
その他業種	83	0	0	0	5	8	5	1	2	10	0	5
全業種	314	7	5	4	27	17	26	8	12	73	8	30

10 年齢階層別，規模別災害発生状況

- ▶ 令和3年の休業4日以上之死傷者数を年齢階層別にみると、50歳以上の労働者層の災害は全産業で全体の約4割を占めている。
- ▶ 規模別で見た場合には、労働者50人未満の事業場で発生している災害は全体の約半数を占めている。

図6-1 年齢階層別休業4日以上之死傷者数

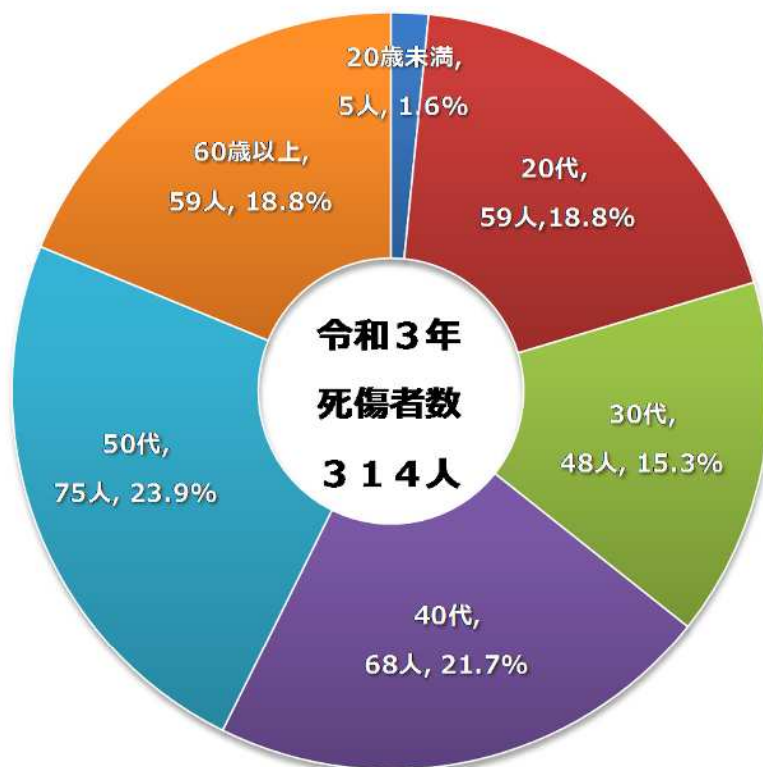


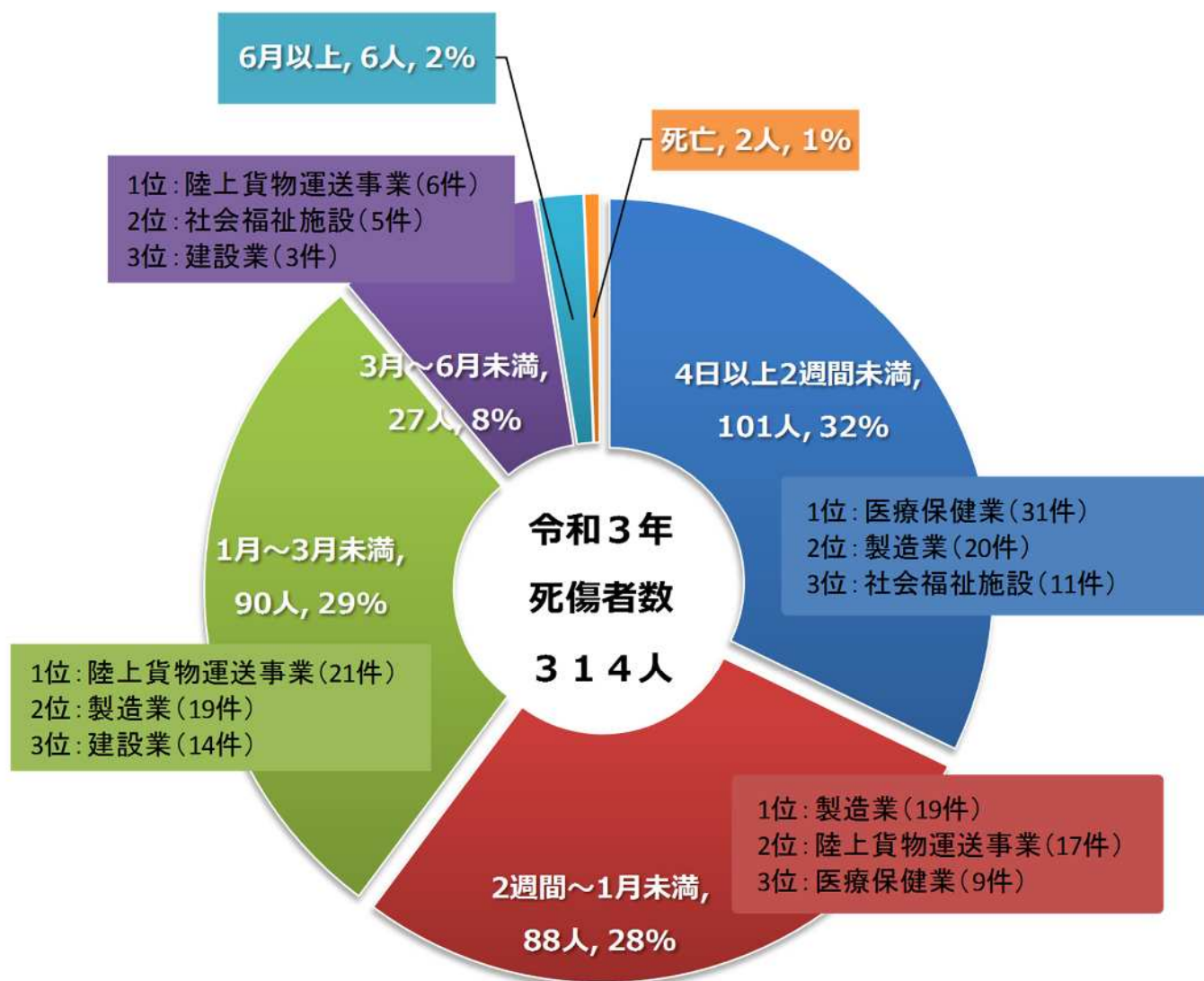
図6-2 事業場規模別休業4日以上之死傷者数



1 1 災害程度別災害発生状況

▶令和3年の休業4日以上死傷者数を被災した程度（休業見込み期間）によって分類したものである。休業期間が1か月以上に及ぶものは全体の約4割となっているが、新型コロナウイルス感染症による患件数を除くと、休業期間が1か月以上に及ぶものは全体の約半数を超える。

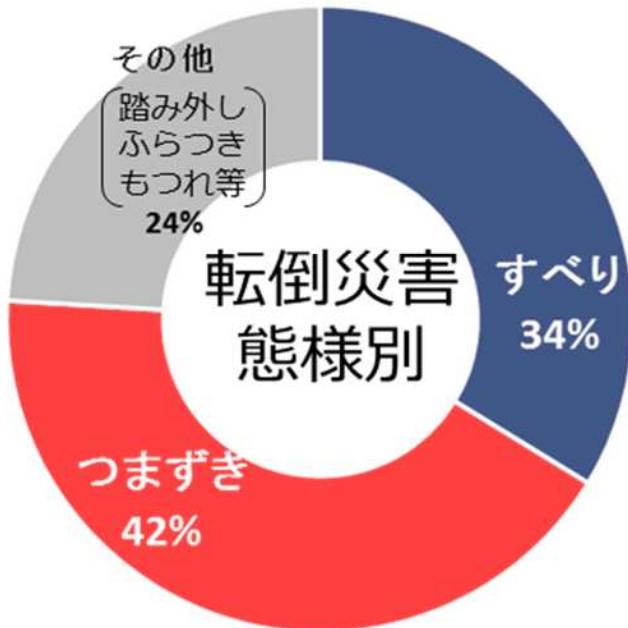
図7 災害の程度別休業4日以上死傷者数



1 2 転倒災害の発生状況（第13次防期間中）

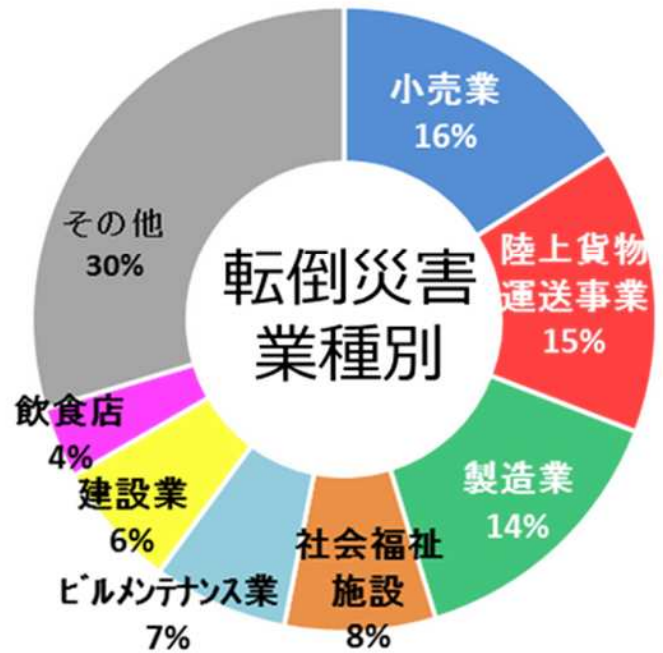
【出典】2018年1月から2022年3月までに鶴見労働基準監督署に提出された労働者死傷病報告データ

図8-1 態様別発生状況



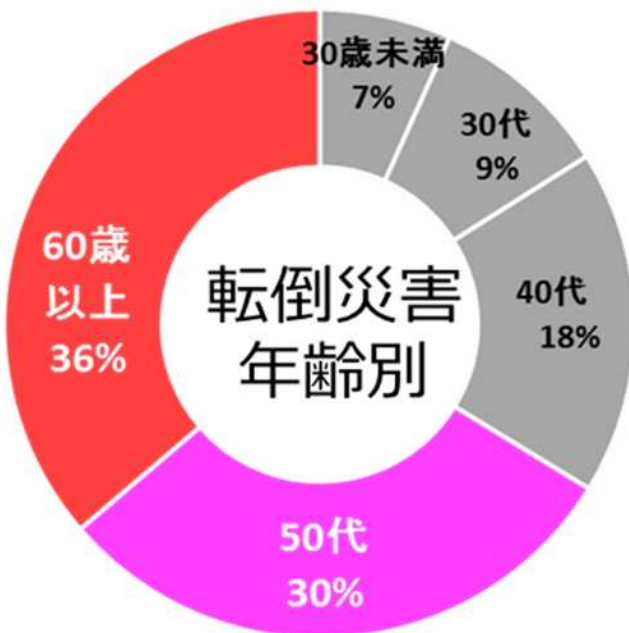
すべり・つまずきが4分の3を占める。

図8-2 業種別発生状況



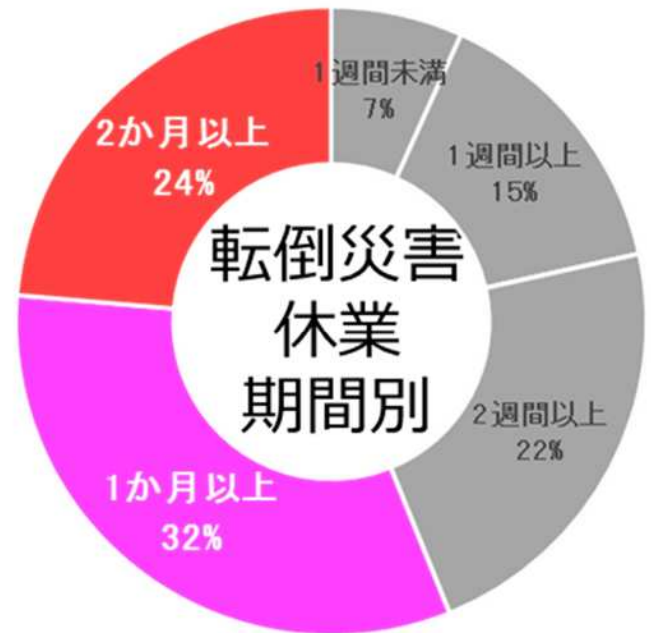
業種横断的に発生している

図8-3 年齢別発生状況



50歳以上の労働者が約7割を占める。

図8-4 休業期間別発生状況



転倒災害による休業の半数以上は、1か月以上となっている。

13 定期健康診断結果

- ▶ 定期健康診断の結果、何らかの所見のあった者の割合（有所見者率）は、鶴見署管内では、平成22年以降、神奈川県全体の値より高くなる傾向が続いており、平成30年以降は60%を超える状況となっている。
 - ▶ 項目別では、各年ともに、血中脂質検査、肝機能検査、血圧検査の結果において有所見率が高い。
- (※ 脳・心臓疾患に関連するとされる項目：血圧、血糖、血中脂質、肥満)

図9-1 定期健康診断結果有所見率の推移

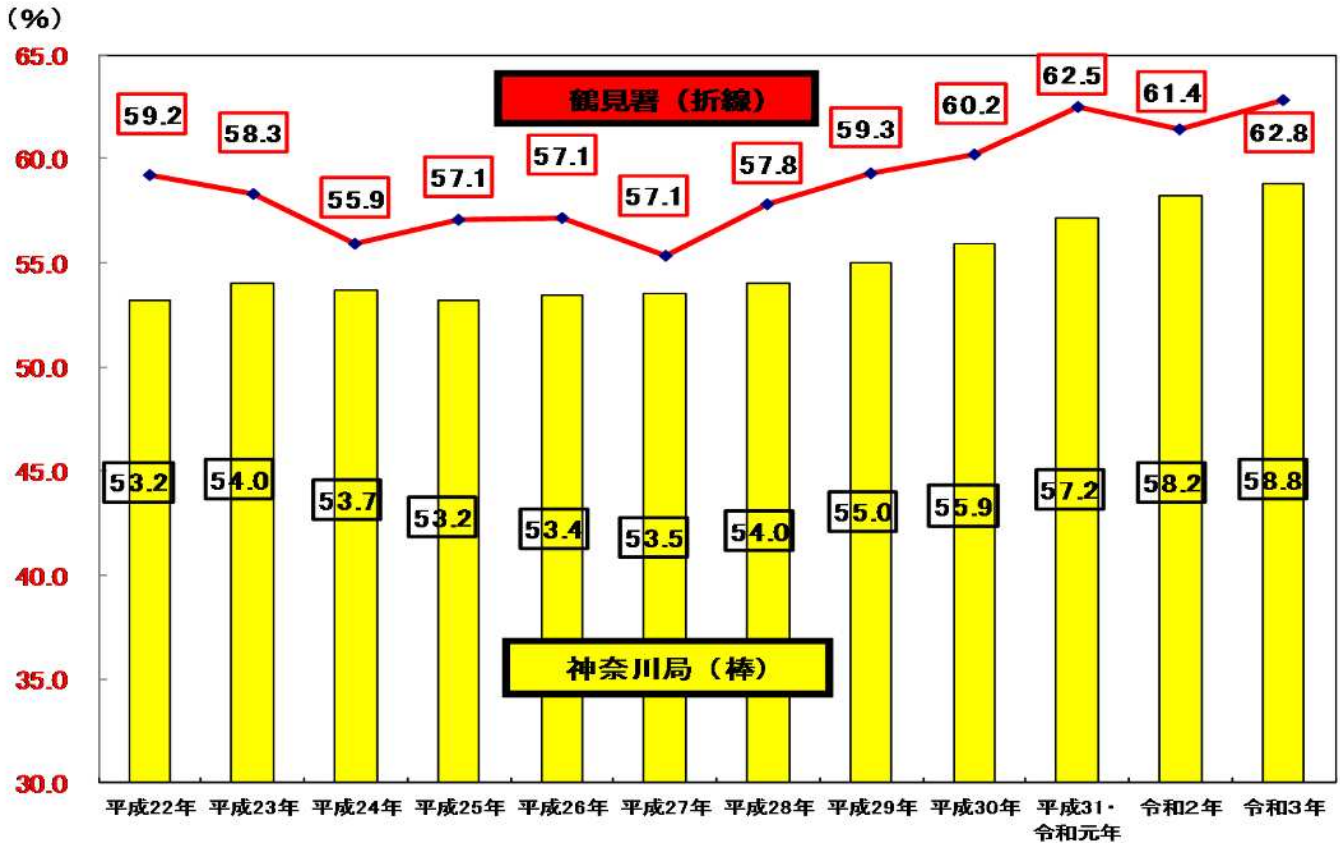
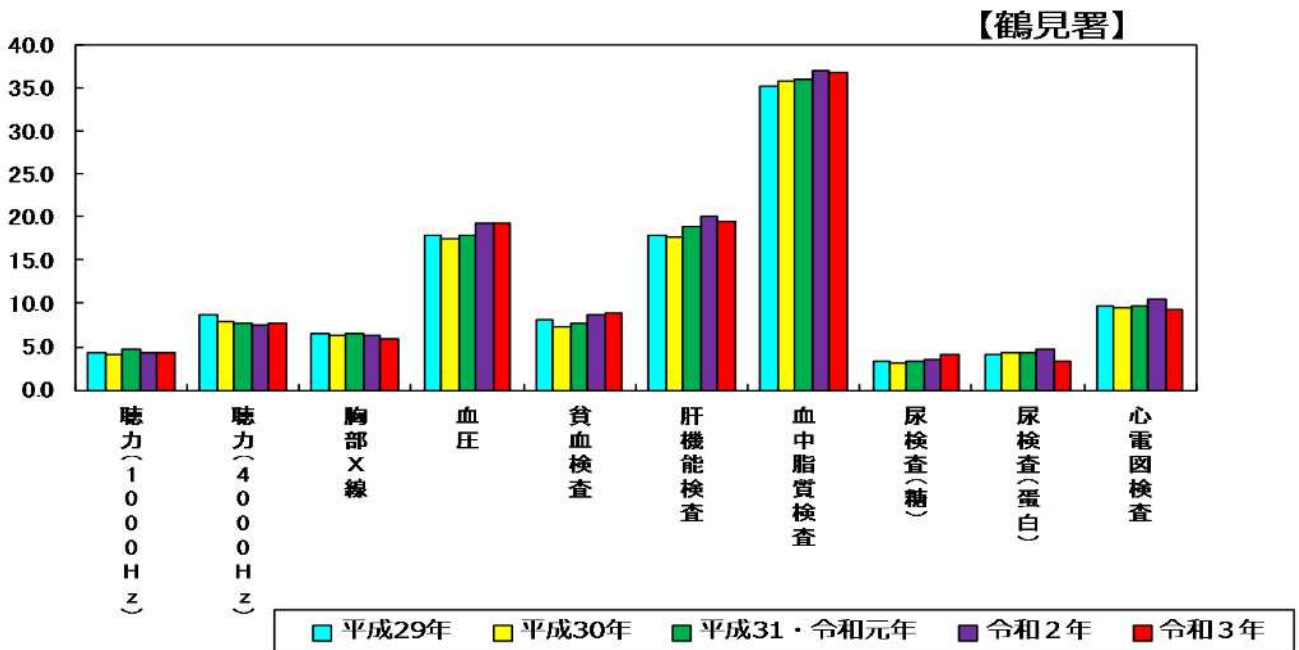


図9-2 定期健康診断検査項目別有所見率 (平成29年~令和3年)

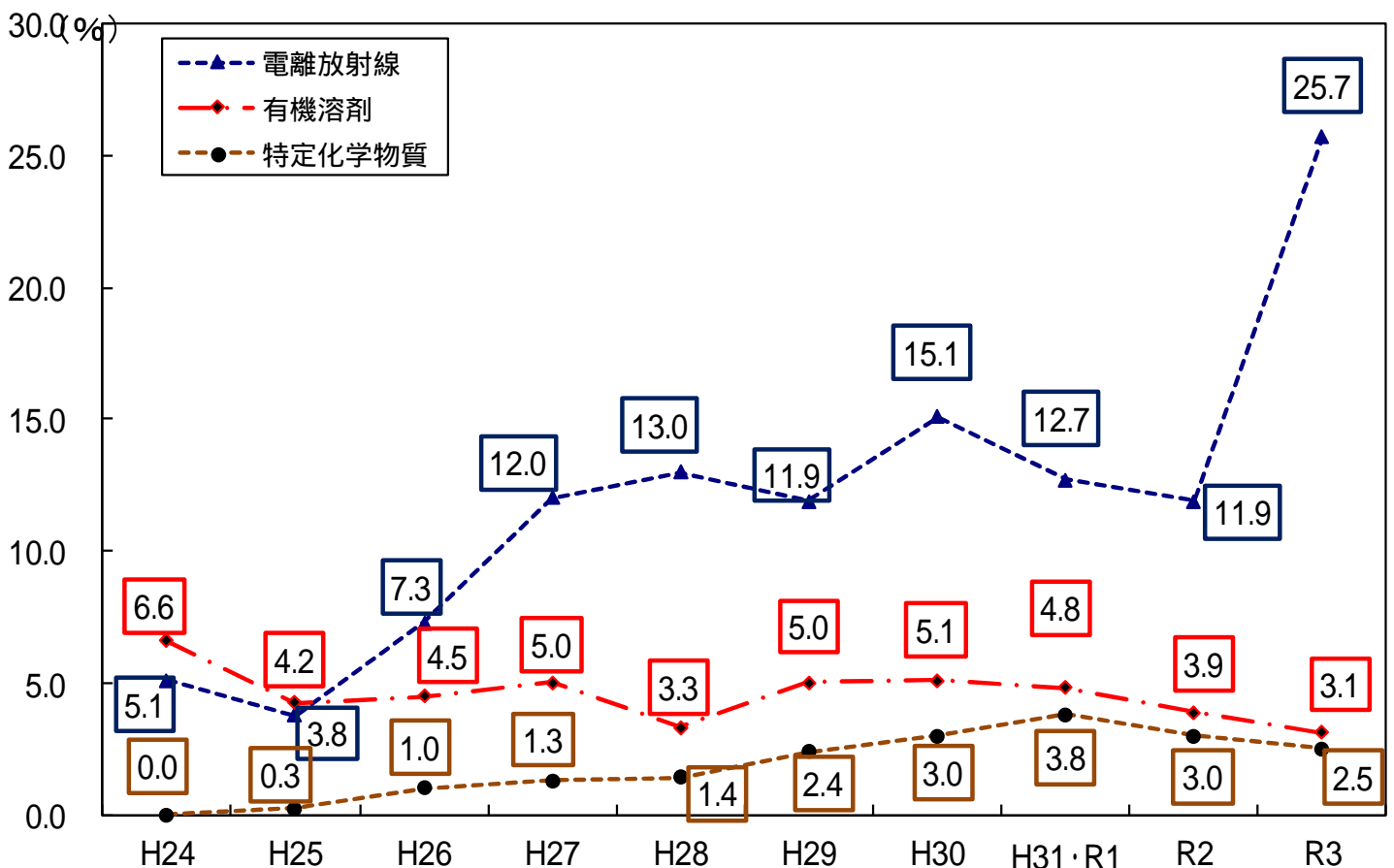


14 特殊健康診断結果

表5 健康診断種類別有所見率（平成29年～令和3年）（単位：％）

健康診断種別		平成29年	平成30年	平成31・ 令和元年	令和2年	令和3年
定期	鶴見署	59.3	60.2	62.5	61.4	62.8
	神奈川局	55.0	55.9	57.2	58.2	58.8
	全国	54.1	55.5	56.6	58.5	58.7
有機溶剤	鶴見署	5.0	5.1	4.8	3.9	3.1
	神奈川局	5.4	5.3	5.5	4.5	2.6
	全国	6.0	6.3	6.2	5.2	3.6
特定化学物質	鶴見署	2.4	3.0	3.8	3.0	2.5
	神奈川局	1.4	1.6	1.6	2.0	1.7
	全国	1.6	1.7	1.7	1.9	1.7
電離放射線	鶴見署	11.9	15.1	12.7	11.9	25.7
	神奈川局	11.4	10.4	11.2	13.0	13.5
	全国	8.7	9.1	9.4	9.0	9.3

図10 特殊健康診断結果有所見率の推移（平成24年～令和3年）【鶴見署】



15 熱中症発症状況

(療養補償給付たる療養の給付請求書等による。(不休を含む))

熱中症は、酷暑であった平成30年に、建設業、運輸交通業、製造業を中心に多く発生した。

図11 1 業種別発症者数 (平成29年～令和3年)

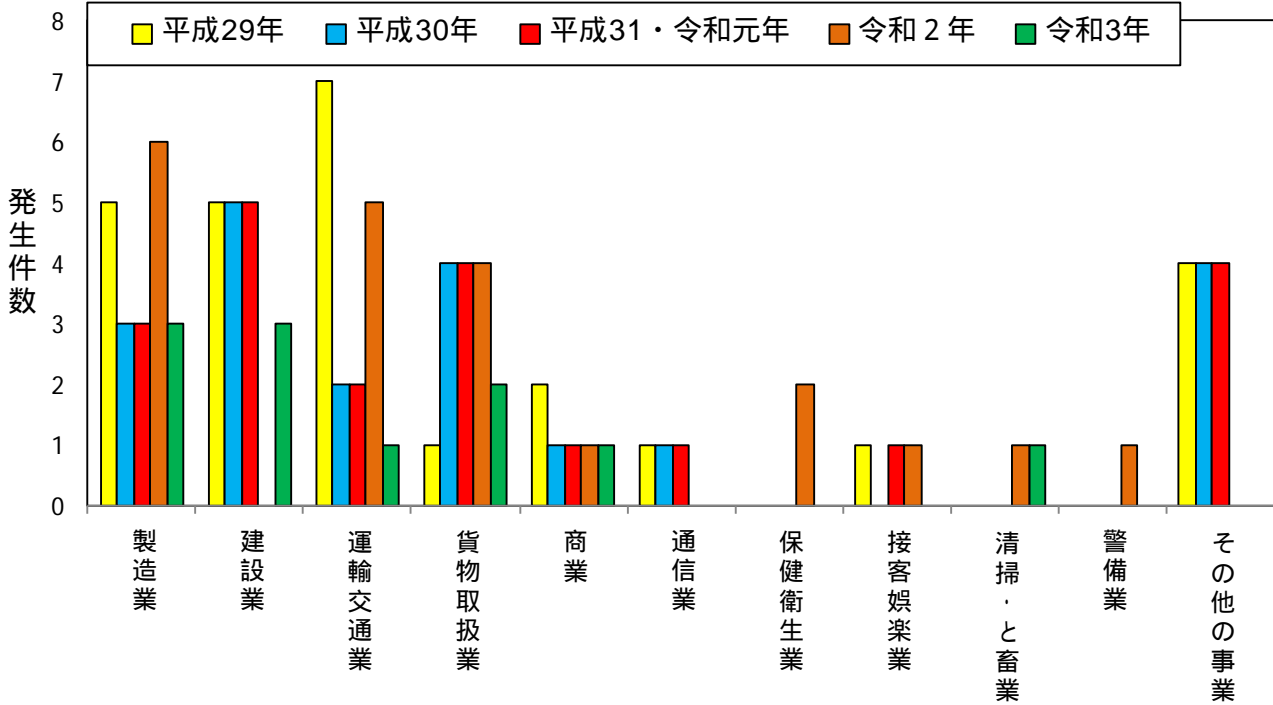
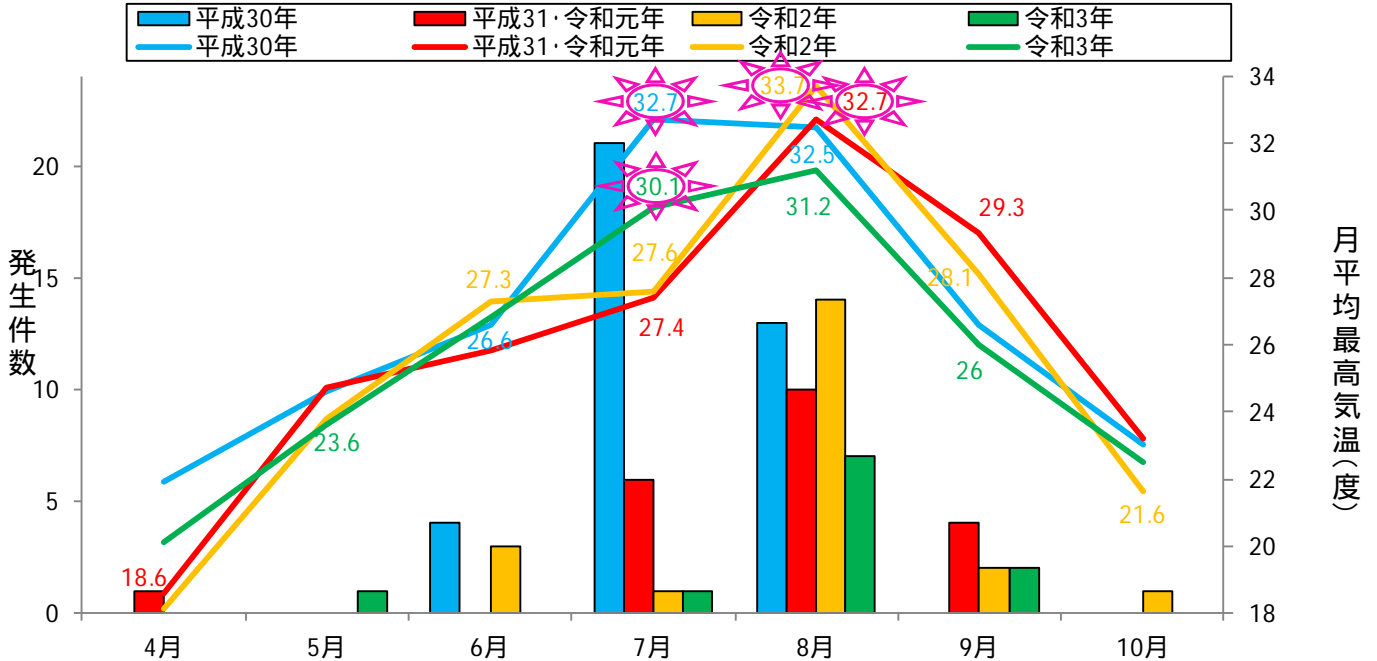


図11 2 熱中症発症者数 (月別) と最高気温 (月平均)



直近4年間に於いて、梅雨明け直後において熱中症の発症が目立った(暑熱順化不足が要因)。

(梅雨明け：平成30年/令和元年/令和2年/令和3年：6/29頃，7/24頃，8/1頃，7/19頃)

16 休業4日未満（不休除く）の労働災害発生状況【令和3年】

図12 1 業種別休業4日未満の労働災害発生状況

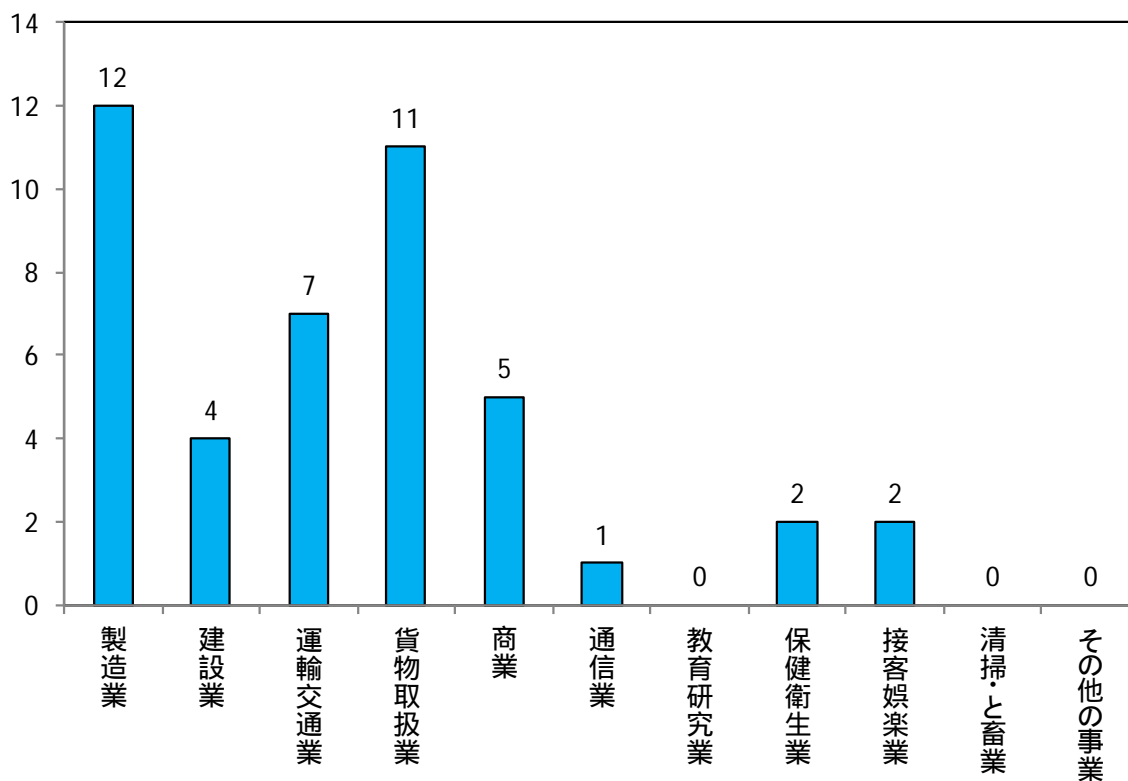


図12 2 事故の型別休業4日未満の労働災害発生状況

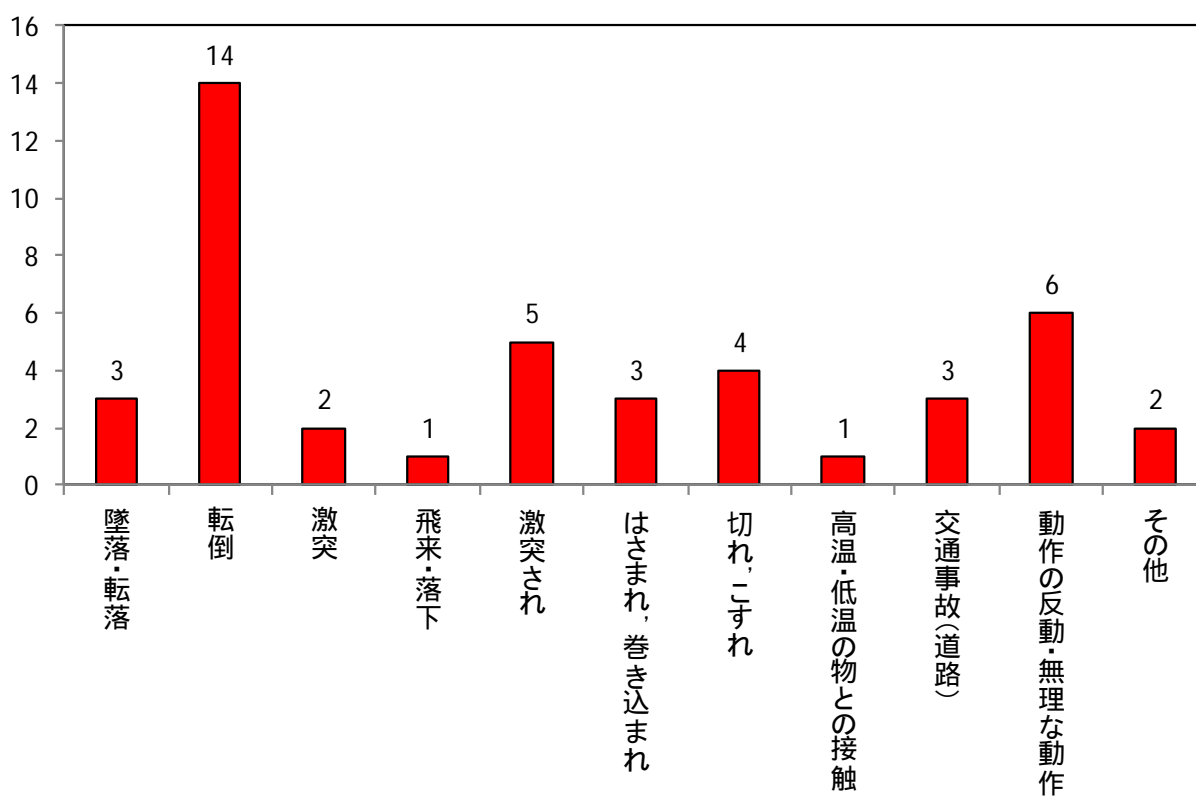


図12 3 起因物別休業4日未満の労働災害発生状況

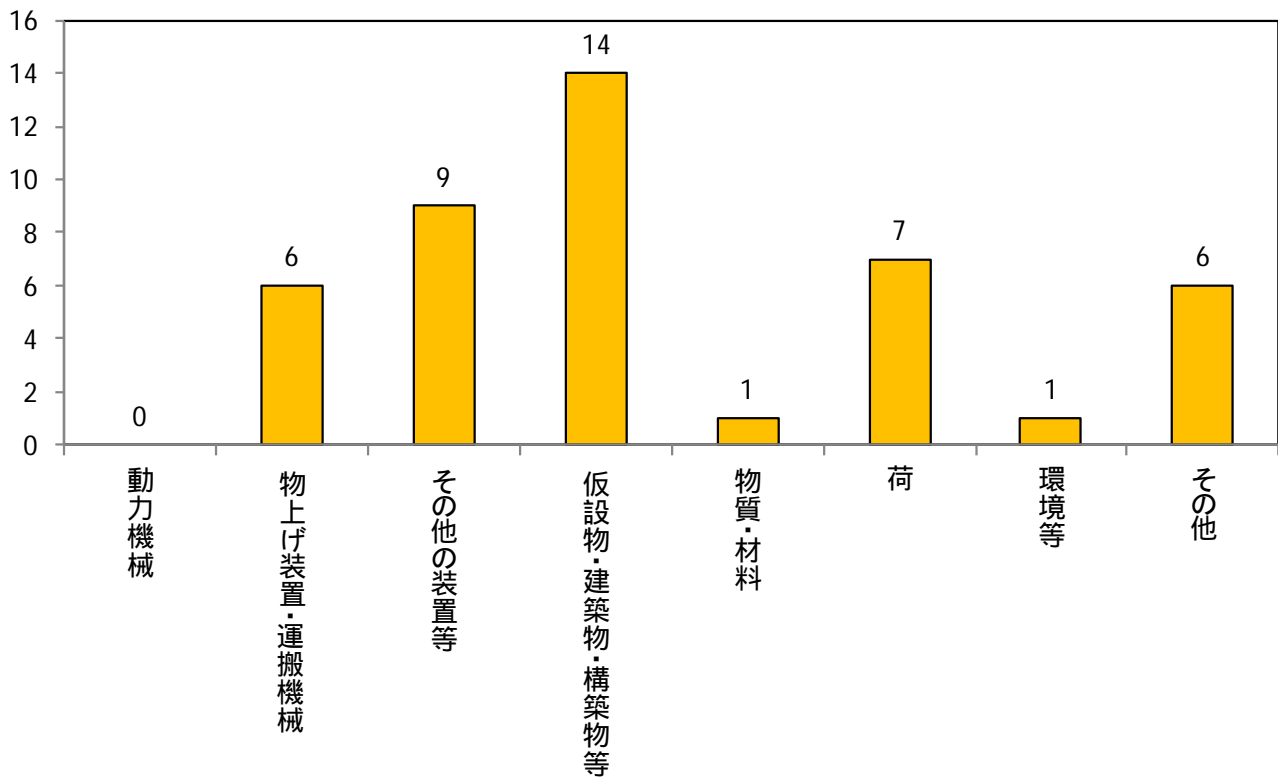


図12 4 事業規模別休業4日未満の労働災害発生状況

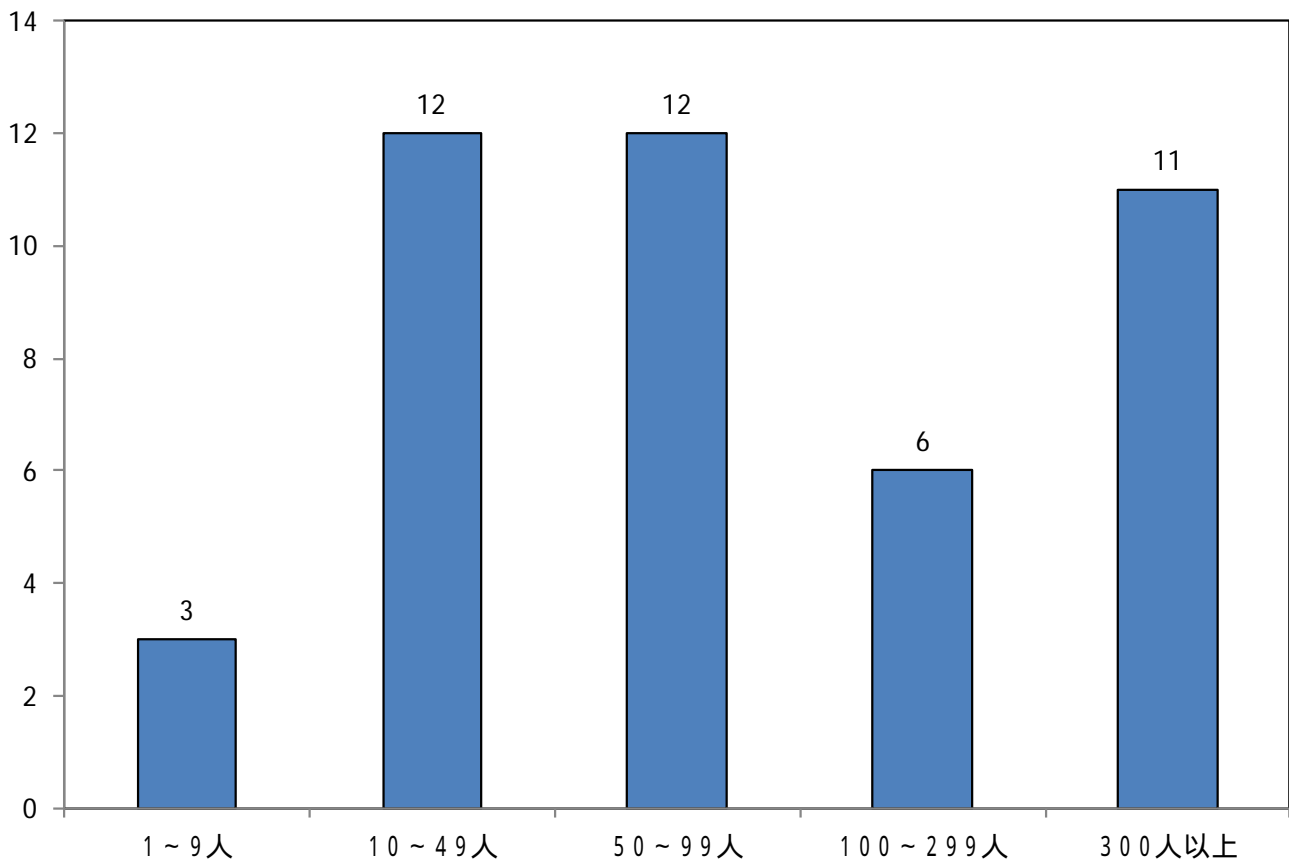
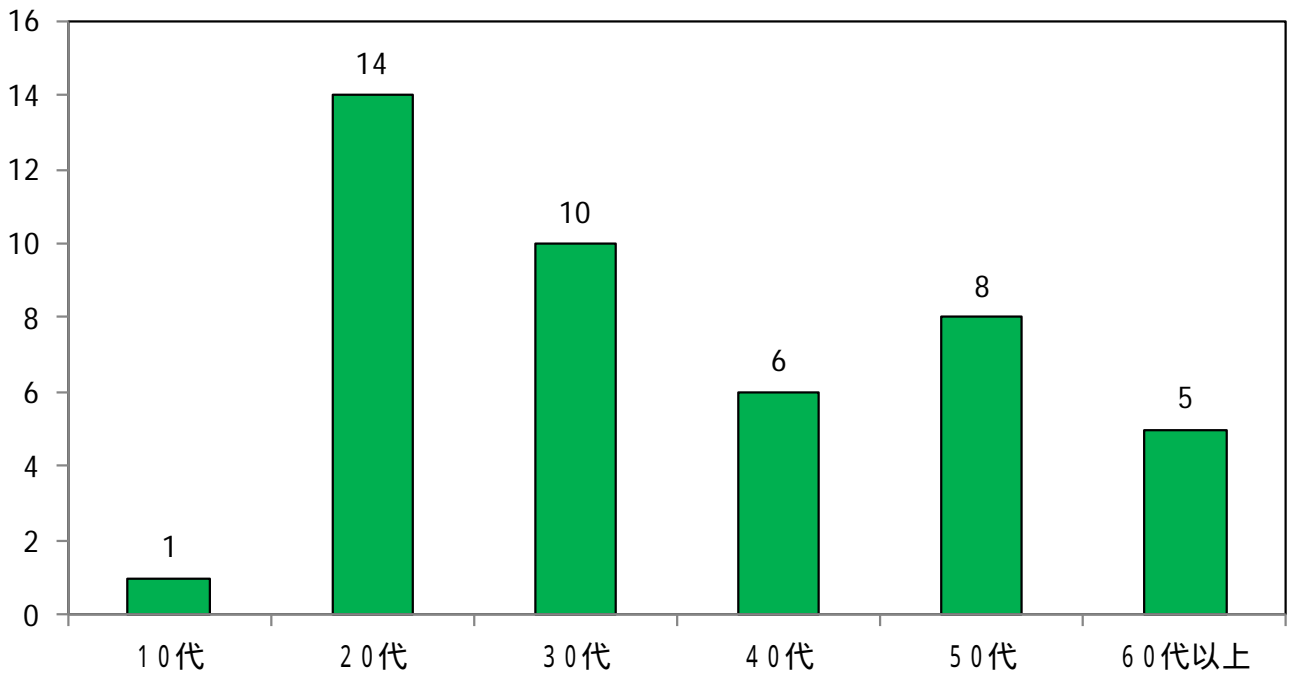




図12 5 年代別休業4日未満の労働災害発生状況





つとすべり
つまずき注意!!



23%

全労働災害の
約4分の1は
転倒災害です

よく 見 て転倒災害防止!!



鶴見労働基準監督署
安全衛生推進キャラクター
つる美ちゃん

みんなで一緒になって
労働災害をなくしていこう!!

【つる美ちゃんのプロフィール】

特 徴：羽がついているので転倒しない。
よく見るため目はぱっちりしている

趣 味：大黒ふ頭上空を飛行すること

好きな路線：鶴見線・京浜東北線・京急本線

大 好 物：鶴見川の活きのいい魚

嫌いなこと：ハンドポケット・歩きスマホ

座右の 銘：急がば回れ・急いては事を仕損じる

★職場でチェックしてみよう!!★

	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	歩きスマホやポケットに手を入れての歩行、手すりを持たず階段を昇降していませんか	<input type="checkbox"/>
5	靴は、滑りにくくちょうど良いサイズのものを選んでいますか	<input type="checkbox"/>
6	転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などを、標識などで注意喚起していますか	<input type="checkbox"/>
8	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>
9	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>



転倒予防
腰痛予防
の取り組み

こちらのリーフレット
(厚生労働省HP)
も参考にしてみてね

高齢者の安全と
健康確保のための
ガイドライン

